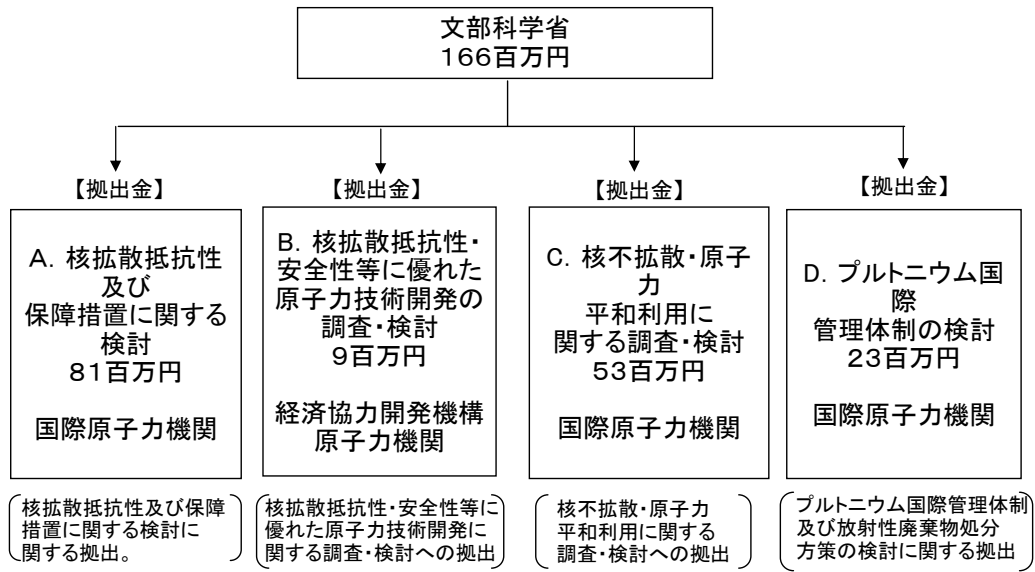


平成23年行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	原子力平和利用調査等事業拠出金	<b>担当部局庁</b>	研究開発局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和61年度～	<b>担当課室</b>	研究開発戦略官付 (核融合・原子力国際協力担当)	研究開発戦略官(核融合・原子力国際協力担当)	片岡洋		
<b>会計区分</b>	エネルギー対策特別会計 (電源開発促進勘定)	<b>施策名</b>	X-5 原子力分野の研究・開発・利用の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	特別会計に関する法律施行令 第51条6項13号	<b>関係する計画、通知等</b>	原子力政策大綱(H17年10月11日 原子力委員会決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)に対する特別拠出金の拠出を通じて、我が国の原子力利用が厳格な保障措置のもと、核拡散に抵触せず、安全に進められていることについて国際的な理解と協力を得ることで、我が国の原子力施設等の利用の促進及び安全の確保等に資する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	IAEA及びOECD/NEAにおいて実施される、 ○核拡散抵抗性及び保障措置に関する検討 ○プルトニウム国際管理体制及び放射性廃棄物処分方策の検討 ○核拡散抵抗性・安全性等に優れた原子力技術開発にかかる調査・検討 ○核不拡散・原子力平和利用に関する調査・検討への拠出 の取り組みについて特別拠出金を拠出し、その結果を我が国の原子力平和利用の推進に資する。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	93	80	195	140	125
		補正予算					
		繰越し等					
		計	93	80	195	140	125
		執行額	93	80	166		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	85.0%			
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	<b>【成果目標】</b> 本拠出金により、 ○核拡散抵抗性及び保障措置に関する検討 ○プルトニウム国際管理体制及び放射性廃棄物処分方策の検討 ○核拡散抵抗性・安全性等に優れた原子力技術開発にかかる調査・検討 ○核不拡散・原子力平和利用に関する調査・検討 の取り組みが実施され、我が国の原子力施設の利用の促進及び安全の確保等に資すること。 <b>【成果実績】</b> IAEA及びOECD/NEAに対して拠出を行い、 ○核拡散抵抗性及び保障措置に関する検討 ○プルトニウム国際管理体制及び放射性廃棄物処分方策の検討 ○核拡散抵抗性・安全性等に優れた原子力技術開発にかかる調査・検討 ○核不拡散・原子力平和利用に関する調査・検討 の取り組みが実施され、我が国の原子力施設の利用の促進及び安全の確保等が図られた。	成果実績					
	達成度	%					
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	<b>【活動目標】</b> IAEA及びOECD/NEAに対して拠出金を拠出する。 <b>【活動実績】</b> IAEA及びOECD/NEAに対して拠出金を拠出した。	活動実績 (当初見込み)					
<b>単位当たりコスト</b>	単位あたりコストを想定できない。	算出根拠	算出することができない。				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	I. 核拡散抵抗性及び保障措置に関する検討	88百万円	80百万円	事業内容の精査			
	II. 核拡散抵抗性・安全性等に優れた原子力技術開発の調査・検討	8百万円	7百万円	事業内容の精査			
	III. 核不拡散・原子力平和利用に関する調査・検討	43百万円	39百万円	事業内容の精査			
	IV. プルトニウム国際管理体制の検討	0百万円	0百万円				
	計	140百万円	125百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【目的・予算の状況】          当事業は電源利用対策として、核拡散抵抗性及び保障措置に関する検討等のため、国際原子力機関等に拠出して実施する有用な事業である。</p> <p>【資金の流れ、費目・使途】          当初の予算措置の目的に従い使用された。</p> <p>【活動実績、成果実績】          核拡散抵抗性及び保障措置に関する検討等を実施し、進展が見られた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)に対する特別拠出金の拠出を通じて、我が国の原子力利用が厳格な保障措置のもと、核拡散に抵触せず、安全に進められていることについて国際的な理解と協力を得ることで、我が国の原子力発電施設等の利用の促進及び安全の確保等に資する事業であり、長期継続、事業の効率化等の観点で検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は長期継続事業(5年以上)であるが、引き続き事業の目的に即して着実に事業を実施すべきである。しかし、予算の硬直化を防ぐため、事業内容の精査に努め、経費の効率化を一層進めるべきである。また、引き続き、本事業の目的を踏まえ、日本国内へ成果が還元される様に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、平成24年度概算要求に関しては、事業内容の精査を行うことにより、14百万円のコスト縮減を図った。また、所見を踏まえ、引き続き、国内への成果の還元にも努める。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

【原子力平和利用調査等事業拠出金】



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※1 国側の数字は国の決算額、受託者側の数字は受託者の決算額(実績報告書ベース)であることから両者の額が一致しないことがある。

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 国際原子力機関			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	核拡散抵抗性及び保障措置に関する検討	81			
計		81	計		0
B. 経済協力開発機構原子力機関			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	核拡散抵抗性・安全性等に優れた原子力技術開発の調査・検討	9			
計		9	計		0
C. 国際原子力機関			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	核不拡散・原子力平和利用に関する調査・検討	53			
計		53	計		0
D. 国際原子力機関			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	プルトニウム国際管理体制の検討	23			
計		23	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額※1 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際原子力機関	IAEA保障措置の新たな概念の構築(統合保障措置)や各国の核燃料サイクルシステムの調査・分析、IAEA保障措置における公開情報等の収集・分析関連プロセスの調査及び情報交流の促進を目的として専門家会合、各国調査などを実施する。	81	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構 原子力機関	「第4世代原子力システムに関する国際フォーラム(GIF)」において協力の実施が決定された革新的原子力システム技術開発分野に関して、技術事務局を務めるOECD/NEAに対して拠出を行い、システム開発の責任者及び個別プロジェクト推進の責任者会合の実施を支援する。	9	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際原子力機関	我が国を含むアジア諸国を対象とした核不拡散・核セキュリティに関するトレーニングコース等の基盤整備を企画・立案するとともに、IAEAが策定する核セキュリティシリーズ文書の改定作業を支援する。	53	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際原子力機関	「革新的原子炉及び燃料サイクルに関する国際プロジェクト(INPRO)」において原子力システムの評価手法の開発や世界規模及び地域規模での原子力エネルギーのシナリオ解析、核燃料サイクルにおける物量評価等を実施。	23	-	-